下関ってなんだかいいね!/

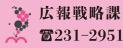
子ども記者が 下関を自分ごと化

角倉小学校の6年生が子ども記者と ジモトガイドを作成しました。

最初は、下関の魅力が浮かばなかった子ども

自分たちで取材してみると

広報戦略課 **2**31-2951



未来の下関の担い手

ぞれの魅力の現状、

課題、

ターゲ

トにどうすれば伝わるかを考えて

下関の魅力を集める

トガイドの作成がスタートしました。

こうして、子ども記者によるジモ

的な進め方を検討していました。

るガイドブックの作成を企画。具体 力を発信するため、子ども記者によ

何を伝えたいか」を考えました。 力の「どんなことを知ってほしいか。 33人。まずは下関の魅力を洗い出す ことから始めます。そして、その魅 作成するのは、角倉小学校6年生

い」などの意見が集まります。それ しい食べ物に興味を持ってもらいた 「歴史を知ってもらいたい」「おい

す。「さらにシティプロモーションと 定し、解決に向けて取り組んでいま 上昌秀先生の1本の電話から。 の取り組みに共感した角倉小学校川 始まりは、シティプロモーション 角倉小学校では地域探求課題を設 場所とキャッチコピー、面白ポイン みんなで取材計画を立てました。 トを考えました。 命に聞き、手分けして写真撮影。 取材後は、一人一人がおすすめ いざ、取材へ。大人の話を一生懸

下関って素晴らし

性を高めて、未来の下関の担い手と

つながることで、子どもたちの市民

して育てていきたい」と、川上先生

は熱い思いを市に届けました。

ちょうど市では、全国に下関の魅

ました」と亀甲さん。 う思いで取材しました」と話します。 それをいろいろな人に伝えたいとい すると、「どういう意味?」「わからな 市にはなさそうなことがありました。 でした。でも、調べてみると、他の いきたいという気持ちがあふれてき い」という感想があったそうです。 下関の魅力が全然思い浮かびません もっと詳しく下関について調べて 取材で学んだことを4年生に説明 6年生の亀甲夏穂さんは「最初

思っていたし、自分が住んでいるま じるようになりました_ んでいるまちって素晴らしいなと感 が、取材をしたことで、 ちという意識しかありませんでした 下関はあまり知られていないと 私たちが住

自分の目で見た感動

がないと思っていました」と、正直 り始めた時、下関にはすごいところ 探して、現状や問題点を考え、計画 な気持ちを話してくれました。 ところが、みんなで下関の魅力を 森航琉さんは「ジモトガイドを作

そうです。 パンフレットで見るよりも、 森さん。 すごく大きくて心に残りました」と 感動しました。特に功山寺の門は、 を立て取材すると、考えが変わった にも伝えられるすごいものがあると、 「長府、赤間神宮など他の県の方 実物が

命に説明したそうです。 感じてもらいたい」と思い、 した時は「『下関ってすごいんだ』と 取材で学んだことを4年生に説明 一生懸

が飾ってあるので、 宮には、琵琶と、歴史を感じる銅像 いです。これからも、 ないと思うので、 有名な耳なし芳一の話がある赤間神 伝えていきたいです 人に知ってもらいたいと思います。 「下関の魅力は全国に知られてい もっとたくさんの ぜひ行ってほし 下関の魅力を





亀甲夏穂 さん



森 航琉 さん

ジモトガイドは、来年度下関の小学校に プリでも配信 されます(12月中旬予定)。

> ▷詳細は下関市 **国** シティプロモー ションのサイト から **ロ** (でき) から



青島の大学生に向けて、下関の魅力 そこで、下関の魅力を詰めたパンフ 下関の魅力を発信しています。 角倉小学校6年生が自分ごととして、 をZOOMで伝える企画もあります。 渡す企画を考えています。他にも、 レットを作って、出会った人たちに たい」と、6年生が発案したそうです。 早速、「修学旅行先で下関をPR ジモトガイドの作成をきっかけに、

下関の魅力を伝えたい

とが、県外の方から見ると当たり前 が芽生えたように思います。ジモト して、もっと調べたいという気持ち 欲が増したように思います だから市外の方に伝えたいという意 ではなかった』と気付いたようです。 ガイドの作成の打ち合わせで、東京 担任江村葉先生はこう振り返ります。 の製作会社の方と児童が話しました。 と児童たちは実感したようです。 下関では当たり前と思っていたこ 下関のことをやはり知らなかった ジモトガイドの作成を、6年生の

広がっています。

われるプロモーションが、少しずつ

下関ってなんだかいいね!」と言